ファンドの特色

❶ 主として世界の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）に実質的に投資を行い、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
❷ ポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業（「ハイクオリティ成長企業」といいます。）の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。
❸ 「限定為替ヘッジ」と「為替ヘッジなし」から、お客さまの投資ニーズに合わせて選択できます。なお、「限定為替ヘッジ」と「為替ヘッジなし」の間でスイッチングが可能です。

ファンドの投資リスク

各ファンドの基準価額の変動要因には、「株価変動リスク」、「業種および個別銘柄選択リスク」、「為替リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。
各ファンドの基準価額は、株式市場の変動、個別銘柄の選択による投資を行うことで株式市場全体の動向から乖離すること、為替変動、為替ヘッジを行ったとしても為替リスクを完全に排除できないことや為替ヘッジコストがかかる場合があること、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等、発行体が収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、市場規模や取引量等により十分な流動性の下で取引を行えないこと等により影響を受けますが、運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、上記の変動要因により基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。※詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お客さまにご負担いただく手数料等について

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ご購入時	購入時手数料	購入価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額となります。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
	スイッチング手数料	スイッチング時の購入価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※スイッチングの際には、換金時と同様の費用、税金がかかります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	換金時手数料	ありません。
	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。
保有期間中（信託財産から間接的にご負担いただきます。）	運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.87%（税抜1.7%）
	その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

分配金に関する留意事項

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当資料の注意事項

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 各ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

中国銀行

商 号 等：株式会社中国銀行
登録金融機関　中国財務局長（登金）第2号
加入協会：日本証券業協会　一般社団法人金融先物取引業協会

■ 設定・運用は

Asset Management One　アセットマネジメントOne

商 号 等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会　一般社団法人日本投資顧問業協会
- コールセンター　0120-104-694（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
- ホームページアドレス　http://www.am-one.co.jp/

200203JS313566.7販売補助資料

販売補助資料
2020.02

世界株式でみる「未来の世界」

愛称：未来の世界

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド
（限定為替ヘッジ／為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式

- 「未来の世界」は新興国を含む世界株式に実質的に投資を行います。
- 「未来の世界」の設定来のパフォーマンスが上昇している背景として、世界株式がおおむね堅調に推移していることが挙げられます。
- そこで、「未来の世界」が投資対象としている世界株式が、過去どのような出来事を経て、どのように推移してきたのかを振り返ってみましょう。

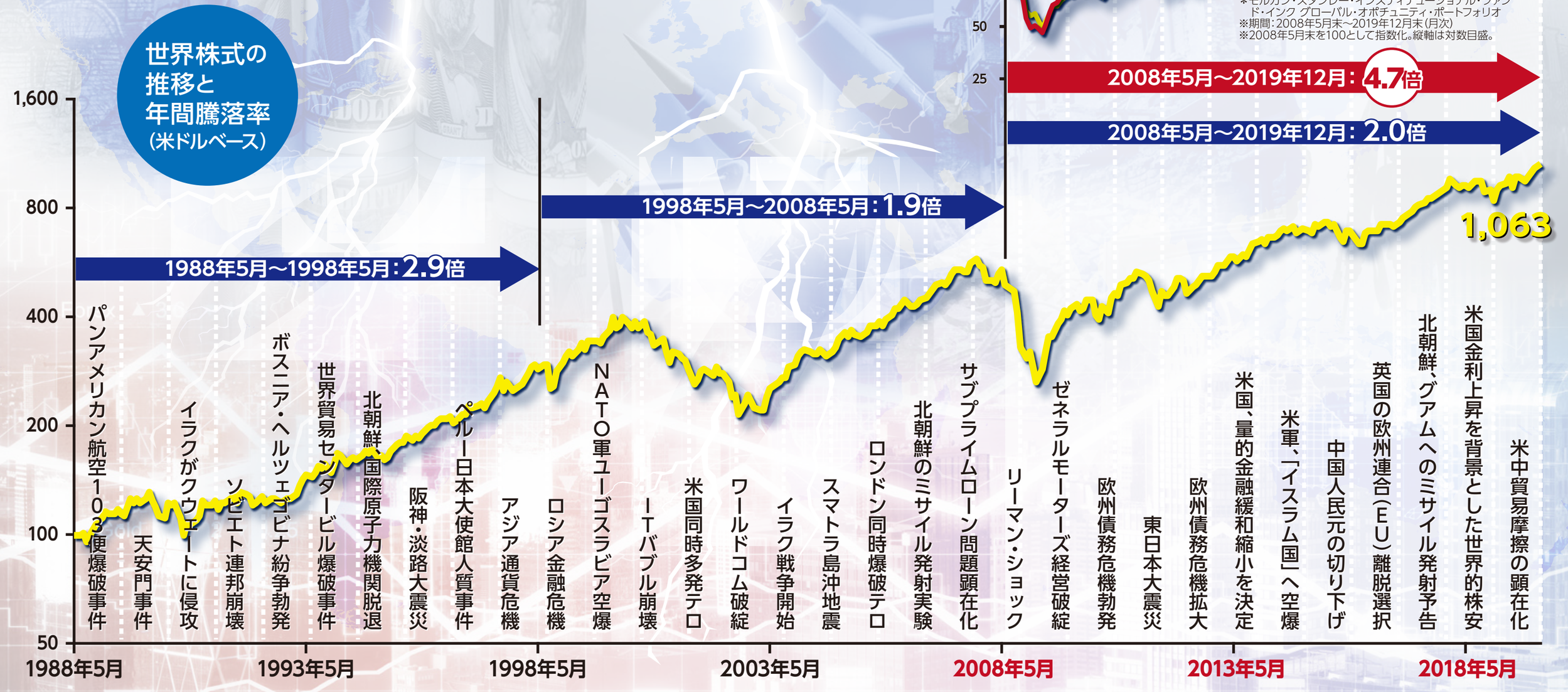
※世界株式は各ファンドのベンチマークではありません。各ファンドのご理解の一助となるようご参考として取り上げています。

※期間：2016年9月29日（各ファンドの設定日前日）～2019年12月30日（日次）
※2016年9月29日を100として指数化。
※分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。
※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を各ファンドに再投資したとみなして計算した理論上のものであり、実際の基準価額とは異なります。

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

世界株式は様々な出来事が起きたなか、長期的には大きく上昇

◆世界株式のパフォーマンスは約30年で 約**10.6**倍となりました。(米ドルベース)
◆「ITバブル崩壊」や「リーマン・ショック」等で下落する場面が見られたものの、期間全体では大きく上昇しました。
◆世界株式の堅調なパフォーマンスが「未来の世界」の基準価額の上昇につながっていると考えられます。



	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
騰落率	11.6%	17.6%	-16.5%	19.9%	-4.2%	24.9%	5.0%	19.5%	13.2%	15.0%	22.0%	26.8%	-13.9%	-15.9%	-19.0%	34.6%	15.8%	11.4%	21.5%	12.2%	-41.8%	35.4%	13.2%	-6.9%	16.8%	23.4%	4.7%	-1.8%	8.5%	24.6%	-8.9%	27.3%

※期間：1988年5月末～2019年12月末(月次) ※推移は1988年5月末を100として指数化。縦軸は対数目盛。※騰落率の1988年は1988年5月末～1988年12月末の騰落率。

※世界株式はMSCI AC ワールドインデックス(配当込み、米ドルベース)を使用。
出所：ブルームバーグ、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

指数の著作権等　MSCI AC ワールドインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。